

# 見栄は不要！ 長期的な視野をもって 多様な働き方に目を向ければ、道は開ける！

女性が夫の年金や貯蓄に依存して専業主婦として老後を乗り切れるのは団塊の世代まで。私たちの世代は独身だろうと夫がいようと自立の道を模索すべしと松本さんは言う。

「熟年離婚や夫の病気・死別もあるでしょう。そんな時も仕事は生きる支えになってくれます」

大切なは無理なく自分のペースをつかんで働き続けること。60歳以降の仕事を考えるには、5年先、10年先を見据えた視点も必要になる。「たとえば60歳まで勤めあげた会社で再雇用を選んだとします。しかし

## 仕事探し成功の三箇条

- ・ 以前の仕事に固執しない。
- ・ 能力ややりたいことを知る。
- ・ 見栄や体裁は捨てる。



実は1年契約の非正規で、更新されなければ65歳を待たずに雇用は終了。しかも給与、地位や待遇も低くなります。配置換えや職種変更も多い。不本意な職場で働き続けても、65歳になれば雇用はストップします」

再雇用は会社への愛着や定収入を得られる利点はあるけども、先輩社員への処遇や会社の方針を見定めて決断を下したほうがいい。安易に再雇用を選ぶのではなく、自分のやりたい職種や業種にも目を向けて。転職も含めて判断すべき。

一方、組織の中で働くのはもう十分という人には、好きなことややりたいことを生かして、独立してフリーになつたり起業したり、ボランティアで活動するという道も。中には起業して業務が軌道に乗るまでパート、アルバイトと二足のワラジを履いたり、複数の働き方をうまく組み合わせ、年齢を経たら軸足を置き換えて働いている人もいる。

「前の会社や地位に固執したり、見栄を張るのはナンセンス。素の自分と能力を知って、今までのやり方にとられない柔軟な頭でキャリアと人生を設計していきましょう」

## どんなふうに関くか？ メリットとデメリット

		メリット	デメリット
会社で働く	雇用継続	同じ会社で働ける。 月々、安定した収入を見込める。	職種や部署を選べない。 65歳以上の働き方が見えない。
	転職	月々、安定した収入を見込める。 自分で働き方や職種を選べる。	就職活動をしなくては行けない。 就職できるかどうか不透明。
働かれないで	起業、フリーランス	自分のやりたい職種、働き方を選べる。 人に雇われるストレスがない。	成功するかどうかわからない。 収入が不安定。
	NPO、ボランティア	人の役に立てる。 生きがいを得られる。	モチベーションを維持するのが難しい。 収入を期待できない場合が多い。